

卒業生答辞

本日は、私たち三年生のためにこのような素晴らしい卒業式を挙げていただき、誠にありがとうございます。また、ご多忙の中をご出席してくださいました、ご来賓の皆様、先生方、保護者の皆様には卒業生一同、心より御礼申し上げます。

三年前、東川高校の新しい制服に身を包み、私たちは入学しました。「新しい東川高校をつくる」。当時、先生が発したその言葉は、心に強く刻まれ、私たちの3年間において大きな原動力となりました。

1年生の時、これから三年間共に過ごす仲間たちと声を掛け合い、輪を広げてゆくと共に、先輩方の背中を見て、東川高校生としての誇りと伝統を少しずつ身につけていきました。学業では、新しい知識を身につけることが大変なこともありましたが、先生方の熱意のあるご指導のおかげで、学習することへの意欲を掻き立てられ、勉強することの楽しさを教えていただきました。

部活動では、1年生から活躍する仲間たちがたくさんいました。この年クロスカントリースキー部が創設され、3年連続で全国大会へ出場するなど、仲間の活躍は私たちに大きな刺激と感動を与えてくれました。この3年間で、運動部、文化部と共に仲間が活躍し、東川高校にとって過去最高の成績をおさめたことは、私たちの誇りとなっています。

2年生になると、学校生活にも慣れ、積極的に行動できるようになりました。毎年7月に行われる学校祭では、クラスごとのパフォーマンスのため、みんなが一つの作品を完成させるべく準備をしてきました。自分の役目を全力で果たすこと、責任を伴うこと、自分一人では達成できないことなど、たくさんのことを学びました。みんなで協力し、一つのことを成し遂げることの喜びは特別なものでした。

また、球技大会では、より、クラスの団結力を実感することができました。仲間を応援し、応援されること。共に汗を流して得たことは、仲間たちとの絆と、みんなに支えられているという暖かい安心感でした。

3年生になると、それぞれが進路に向かって挑戦をしてきました。自分でも何が良いのかわからない時、支えになってくれたのは、親身になって話を聞いてくださった先生方、そしていつも側で見守ってくれた家族でした。

進路の目標が決まり、そこにたどり着くために、本当にたくさんの先生方に助けていただきました。自分一人では押しつぶされそうになっても、一緒に考え、悩んでくださる先生の姿に、期待に答えたい、笑顔で良い結果を報告したいと抱くようになりました。時には厳しいご指導もありましたが、自分のために親身になってくださった事に、「ありがとうございます」という言葉以外見つかりません。3年間担任だった、藤崎先生、前田生方が差し伸べてくれた手の温かみは、この先忘れることはありません。

そして、私たちをこれまで育ててくれた家族にも、感謝の気持ちを伝えたいです。家族は、どんな時も私たちを励まし、寄り添い、不安を和らげてくれる、そんな温かさが嬉しく安心して高校生活を

送ることができました。学校にいる時間の方が長くても、どんなに離れていても、いつでも心には、家族がいるから私はここまで頑張ることができました。お父さん、お母さん、兄弟のみんな、本当にありがとう。

また、東川町や地域の方々におかれましても、様々なご支援を頂きありがとうございました。東川町で高校生活を送れたことを幸せに思います。

在校生の皆さん、素晴らしい祝辞をありがとうございました。卒業生を代表し、心から感謝申し上げます。これからの毎日を大切に、目標に向かって全力で進んでいってください。みなさんには心強い先生方がいるので安心してください。

そして、三年間共に過ごしたみんなへ。

嬉しいこと、悲しいこと、大変なこと、どんなことも分かち合ったのは友達です。月日が経つにつれて「互いに信頼し合い、助け合う。」そのような関係を築けたことを嬉しく思います。

特に進路実現において勉強を教え合ったり、面接の練習をしあったり、切磋琢磨し、どんなに些細なことでも、友達との繋がりはかけがえのない思い出となりました。みんなが就職に、進学に次々と内定、合格を決める度に喜びを分かち合いました。

そして、今年度の進路結果は確実に就職、進学とも「新しい東川高校」の1ページを作り上げることができました。

これから私達は、それぞれの進路に向かって進んで行きますが、この東川高校で学んだことを糧に強い決意と意志を持って歩んで行きたいと思います。

最後になりますが、心から感謝の気持ちとともに、東川高校のさらなる発展をお祈りし、答辞の言葉とさせていただきます。

令和2年3月2日

3年A組 ニグマノヴァ・シリ

